

主日礼拝

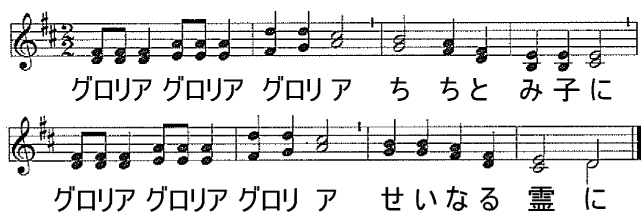
2024年02月11日
午前10時30分前奏 「ああ、恵みもて 我らと共にとどまりたまえ」
(S.カルクエラート)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「主に向かって喜び歌おう。
救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。
御前に進み、感謝をささげ
樂の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。
主は大いなる神
すべての神を超えて大いなる王。
深い地の底も御手の内にあり
山々の頂も主のもの。
海も主のもの、それを造られたのは主。
陸もまた、御手によって形づくられた。
わたしたちを造られた方
主の御前にひざまずこう。
共にひれ伏し、伏し拝もう。
主はわたしたちの神、わたしたちは主の民
主に養われる群れ、御手の内にある羊。
今日こそ、主の声に聞き従わなければならない。」
(詩編95:1~7)

頌栄 26「グロリア」



リタニー 「週のはじめに」

司式者：神さま、週の最初の日
会衆：神さまを、賛美します。
司式者：わたしたちが、歩いていく道を
会衆：神さま、照らしてください。
司式者：みんなが、笑顔ですごせるよう、
会衆：神さま、助けてください。
司式者：みんなで助け合って、
一人一人を大切にできるよう
会衆：神さま、守ってください。
司式者：今週も、神さまと共に歩みます。
みんな：神さま、今週もわたしたちといっしょに
いてください。アーメン

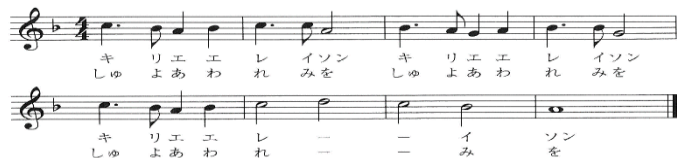
祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 6:1~15

新約(新共同訳) P174

1 その後、イエスはガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖の向こう岸に渡られた。2 大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。3 イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。5 イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、6 こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。7 フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。8 弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。9「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持ってある少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」10 イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。11 さて、

イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。12人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。13集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。14そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来られる預言者である」と言った。15イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでまた山に退かれた。

賛美 198 「二ひきのさかなと」

詞：佐伯幸雄、1931- 曲：小海基、1958- AGAPE

1 にひきののさかなともいなつつのパンを、
 2 おとなもこのことばをなつかよくとすわり、
 3 さいごのここのことばをなかなじるとは、
 4 せいよのここのことばをしんじるひとに、

イエスさまでしゅくして わけました。
 イエスさまのちからがあふれます。

- 1 二ひきのさかなと 五つのパンを、
イエスさましゅくして わけました。
- 2 おとなも子ども なかよくすわり、
みんなでいっぱい たべました。
- 3 さいごのこった さかなとパンは、
十二にかごから あふれます。
- 4 せいしよのここのことばを しんじるひとに、
主イエスのちからがあふれます。

説教 「神さまの満ち足りた恵み」

賛美 542 「主が受け入れてくださるから」

Help us accept each other 詞：Fred Kaan, 1929-2009 曲：Doreen Potter, 1925-1980 BARONITA

1 主目ごうとけいれてくならさか
 2 主目ごうとけいれてくならさか
 3 主目ごうとけいれてくならさか
 4 主目ごうとけいれてくならさか

われら互いに受け入れ合おう。
 共におられる主を信じよう、
 主に愛されたひとりとして。

日ごと苦しむ時も
 希望のみことば ください、主よ。
 人を選ばず あるがままに
 愛することができるように。

- 1 主が受け入れてくださるから
われら互いに受け入れ合おう。
共におられる主を信じよう、
主に愛されたひとりとして。
- 2 日ごと苦しむ時も
希望のみことば ください、主よ。
人を選ばず あるがままに
愛することができるように。
- 3 受け入れられて新たにされ
生活の場に迷い出され、
和製の食卓 共に囲み
交わす笑みこそ いやしのわざ。
- 4 今日も出会いが求められる。
分け合う道が 求められる。
聖霊を受け 新たにされ
われら互いにひとつになろう。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「主のみわざに感謝 (10 番)」
(J.シュレンク)

司式：福原 之織
 説教：向井 希夫牧師
 奏楽：玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。